

2026 年 1 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 S H I F T  
 代表者名 代表取締役社長 丹 下 大  
 (コード番号：3697 プライム市場)  
 問合せ先 取 締 役 小 林 元 也  
 (TEL. 03-6809-1165)

### 募集新株予約権(有償ストック・オプション)の発行に関するお知らせ

当社は、本日付の取締役会において、会社法第 236 条、第 238 条及び第 240 条の規定に基づき、当社の従業員に対し、以下のとおり、有償ストック・オプション(第 10 回新株予約権)(以下、「本新株予約権」といいます。)を発行することについて決議をいたしましたので、お知らせいたします。なお、本件は新株予約権を引き受ける者に対して公正価格にて有償で発行するものであり、特に有利な条件ではないことから、株主総会の承認を得ることなく実施いたします。また、本新株予約権は付与対象者に対する報酬としてではなく、各者の個別の投資判断に基づき引き受けが行われるものであります。

#### 1. 発行の目的及び理由

本新株予約権の発行は、中長期的な当社の業績拡大及び企業価値の増大を目指すにあたり、当社の従業員の意欲及び士気をより一層向上させ、当社の結束力及び成長速度をさらに高めることを目的として、当社の従業員に対して、有償にて新株予約権を発行するものであります。

本新株予約権には、行使価額修正条項が設定されており、当社が定めた業績目標(連結調整後営業利益)を達成した場合には、行使価額は当初行使価額(本新株予約権の発行に係る取締役会の前営業日の株価終値)となりますが、業績目標の達成前では、行使価額は、本新株予約権の行使請求日の株価終値に修正されることとなります。このような条件を設定することにより、業績目標を達成した場合には一般的な有償ストック・オプションのようなインセンティブプランとしての機能が期待でき、また、業績目標の達成前においても付与対象者が当社の株式を取得し株主となることが可能となっており、付与対象者である従業員の当社への帰属意識を高めることが期待できます。

業績目標については、成長戦略である「SHIFT3000」で狙う売上高 3,000 億円、調整後営業利益 650 億円の早期達成を目指すべく、2029 年 8 月期の連結調整後営業利益 400 億円を設定しております。当社は 2005 年の創業以来、製造業向けコンサルティング業で培った業務プロセス分解を IT 業界に適用したことにより、ソフトウェアテスト業を確立させてまいりました。この分業・標準化・仕組化の業務プロセス分解と AI の利活用を掛け合わせることで、売上高のみならず収益性を大きく改善させることを念頭に置いた目標となります。

なお、本新株予約権がすべて行使された場合に増加する当社普通株式の総数は、2025 年 11 月 30 日時点の発行済株式総数 267,500,670 株に対して 0.4%に相当します。しかしながら、本新株予約権は、当社の従業員の意欲及び士気をより一層向上させ、当社の結束力及び成長速度をさらに高めることに寄与することに加えて、あらかじめ定める業績目標の達成へのインセンティブを付与する機能を有するものであります。とりわけ、あらかじめ定める業績目標の達成が実質的には当初行使価額による行使条件とされており、その目標が達成されることは、当社の企業価値・株主価値の向上に資するものと認識しております。このため、本新株予約権の発行は、当社の既存株主の皆様の利益に貢献できるものと認識しており、株式の希薄化への影響は合理的なものであると考えております。

#### 2. 発行の概要

(1) 新株予約権の割当ての対象者及びその人数並びに割り当てる新株予約権の数	当社の従業員	37 名	10,400 個
(2) 新株予約権の目的である株式の種類及び	本新株予約権 1 個あたりの目的である株式の数(以下、「付与株式数」という。)は、当社普通株式 100 株とする。		

数	<p>なお、付与株式数は、本新株予約権の割当日後、当社が株式分割(当社普通株式の無償割当てを含む。以下同じ。)または株式併合を行う場合、次の算式により調整されるものとする。ただし、かかる調整は、本新株予約権のうち、当該時点で行使されていない本新株予約権の目的である株式の数についてのみ行われ、調整の結果生じる1株未満の端数については、これを切り捨てるものとする。</p> <p>調整後付与株式数＝調整前付与株式数×分割(または併合)の比率</p> <p>また、本新株予約権の割当日後、当社が合併または会社分割を行う場合その他これらの場合に準じて付与株式数の調整を必要とする場合には、合理的な範囲で、付与株式数は適切に調整されるものとする。</p>
(3) 新株予約権の総数	10,400 個
(4) 新株予約権の払込金額又はその算定方法	<p>本新株予約権1個あたりの発行価額は、金2,500円とする。</p> <p>なお、当該金額は、第三者評価機関である株式会社プルータス・コンサルティングが、当社の株価情報等(当社株式の株価(980.3円)、行使期間(10.8年)、株価変動性(55.13%)、配当利回り(0%)、無リスク利率(2.201%)、行使価額修正条項等)を考慮して、一般的なオプション価格算定モデルであるモンテカルロ・シミュレーションによって算出した結果を参考に、当該金額と同額に決定したものであり、当社は、当該金額は有利発行に該当しないと判断している。</p>
(5) 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額及びその1株当たりの金額(行使価額)及び行使価額の修正	<p>本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、1株あたりの払込金額(以下、「行使価額」という。)に、付与株式数を乗じた金額とする。</p> <p>行使価額は、本新株予約権の発行にかかる当社取締役会決議日の前取引日である2026年1月13日の東京証券取引所における当社普通株式の終値である金980.3円(以下、「当初行使価額」という。)とする。</p> <p>＜行使価額の修正＞</p> <p>行使価額は、新株予約権者による本新株予約権の行使請求が行われる都度、行使請求日(以下、「修正日」という。)の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値(同日に終値がない場合には、その直前の終値)に修正され、1円未満の端数を切り上げる(以下、「修正後行使価額」という。)。ただし、修正後行使価額が当初行使価額を下回る場合は、当初行使価額を修正後行使価額とする。</p> <p>上記に関わらず、当社が下記に掲げる条件(以下、「業績条件」という。)を満たした場合には、行使価額は当初行使価額に修正され、以後、上記による修正は行わない。また、当該条件の判定にあたっては、当社の有価証券報告書に記載された数値を用いるものとし、適用される会計基準の変更や当社の業績に多大な影響を及ぼす企業買収等の事象が発生し、連結損益計算書等の数値を直接参照することが適切ではないと当社取締役会が判断した場合には、当社は合理的な範囲内で別途参照すべき指標を当社取締役会が定めることができるものとする。なお、当該行使価額の当初行使価額への修正は、業績条件を達成することとなる事業年度にかかる有価証券報告書の提出日の翌日から適用する。</p> <p>[業績条件]</p> <p>2029年8月期の連結調整後営業利益が400億円を超過した場合調整後営業利益は営業利益に下記を加算したものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ のれん償却費</li> <li>・ 顧客関連資産に係る減価償却費</li> <li>・ M&amp;Aに係る諸経費(成約に至らないケースも含む)</li> <li>・ 本新株予約権に付随して発生する費用</li> </ul> <p>＜行使価額の調整＞</p> <p>本新株予約権の割当日後、当社が株式分割または株式併合を行う場合、次の算式により当初行使価額及び行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。</p>

	<p>調整後行使価額 = 調整前行使価額 × <math>\frac{1}{\text{分割(または併合)の比率}}</math></p> <p>また、本新株予約権の割当日後、当社が当社普通株式につき時価を下回る価額で新株の発行または自己株式の処分を行う場合（新株予約権の行使に基づく新株の発行及び自己株式の処分並びに株式交換による自己株式の移転の場合を除く。）、次の算式により当初行使価額及び行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。</p> $\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新規発行株式数} \times 1 \text{株あたりの払込金額}}{\text{新規発行前の1株あたりの時価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}$ <p>なお、上記算式において「既発行株式数」とは、当社普通株式にかかる発行済株式総数から当社普通株式にかかる自己株式数を控除した数とし、また、当社普通株式にかかる自己株式の処分を行う場合には、「新規発行株式数」を「処分する自己株式数」に読み替えるものとする。</p> <p>さらに、上記のほか、本新株予約権の割当日後、当社が合併または会社分割を行う場合その他これらの場合に準じて行使価額の調整を必要とする場合には、当社は、合理的な範囲で適切に当初行使価額及び行使価額の調整を行うことができるものとする。</p>
(6) 新株予約権の権利行使期間	本新株予約権を行使することができる期間（以下、「行使期間」という。）は、2026年2月3日から2036年11月30日までとする。
(7) 新株予約権の行使の条件	<p>① 新株予約権者は、本新株予約権の権利行使時において、当社または当社の関係会社の取締役、監査役、執行役員、従業員、相談役、顧問その他これらに準じる地位（以下、「要件地位」という。）のいずれかの地位にあることを要する。ただし、任期満了による退任、定年退職、その他正当な理由があると当社が認めた場合は、要件地位を喪失しないものとみなす。</p> <p>② 上記①の定めにかかわらず、新株予約権者が死亡した場合には、当該新株予約権者の相続人は、相続により承継した本新株予約権を行使することはできない。</p> <p>③ 本新株予約権の行使によって、当社の発行済株式総数が当該時点における発行可能株式総数を超過することとなるときは、当該本新株予約権の行使を行うことはできない。</p> <p>④ 各本新株予約権1個未満の行使を行うことはできない。</p>
(8) 新株予約権の行使により株式を発行する場合に増加する資本金及び資本準備金の額	<p>① 本新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とする。計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。</p> <p>② 本新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本準備金の額は、上記①記載の資本金等増加限度額から、上記①に定める増加する資本金の額を減じた額とする。</p>
(9) 新株予約権の取得の事由及び取得条件	<p>① 当社が消滅会社となる合併契約、当社が分割会社となる会社分割についての分割契約もしくは分割計画、または当社が完全子は、当社は、当社取締役会が別途定める日の到来をもって、本新株予約権の全部を無償で取得することができる。</p> <p>② 新株予約権者が権利行使をする前に、上記(7)に定める規定により本会社となる株式交換契約もしくは株式移転計画について株主総会の承認（株主総会の承認を要しない場合には取締役会決議）がなされた場合新株予約権の行使ができなくなった場合（上記(7)①に定める要件地位を喪失した場合を含む。）は、当社は、当社取締役会が別途定める日の到来をもって、当該新株予約権者が保有する本新株予約権を無償で取得する。</p>

	③ 本新株予約権の行使期間中に、新株予約権者が死亡した場合には、当社は、当該新株予約権者が保有する本新株予約権を、本新株予約権1個につきその発行価額と同額で取得する。
(10) 新株予約権の譲渡制限	譲渡による本新株予約権の取得については、当社取締役会の決議による承認を要するものとする。
(11) 組織再編行為時における新株予約権の取扱い	<p>当社が、合併(当社が合併により消滅する場合に限る。)を、吸収分割、新設分割、株式交換または株式移転(以上を総称して以下、「組織再編行為」という。)を行う場合において、組織再編行為の効力発生日に新株予約権者に対し、それぞれの場合につき、会社法第236条第1項第8号イからホまでに掲げる株式会社(以下、「再編対象会社」という。)の新株予約権を以下の条件に基づきそれぞれ交付することとする。ただし、以下の条件に沿って再編対象会社の新株予約権を交付する旨を、吸収合併契約、新設合併契約、吸収分割契約、新設分割計画、株式交換契約または株式移転計画において定めた場合に限るものとする。</p> <p>① 交付する再編対象会社の新株予約権の数 新株予約権者が保有する本新株予約権の数と同一の数をそれぞれ交付する。</p> <p>② 新株予約権の目的である再編対象会社の株式の種類 再編対象会社の普通株式とする。</p> <p>③ 新株予約権の目的である再編対象会社の株式の数 組織再編行為の条件を勘案のうえ、上記(2)に準じて決定する。</p> <p>④ 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額 交付される各新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、組織再編行為の条件等を勘案のうえ、上記(5)で定められる行使価額を調整して得られる再編後行使価額に、上記(11)③に従って決定される当該新株予約権の目的である再編対象会社の株式の数を乗じた額とする。</p> <p>⑤ 新株予約権を行使することができる期間 上記(6)に定める行使期間の初日と組織再編行為の効力発生日のうち、いずれか遅い日から上記(6)に定める行使期間の末日までとする。</p> <p>⑥ 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金に関する事項 上記(8)に準じて決定する。</p> <p>⑦ 譲渡による新株予約権の取得の制限 譲渡による取得の制限については、再編対象会社の取締役会の決議による承認を要するものとする。</p> <p>⑧ その他新株予約権の行使の条件 上記(7)に準じて決定する。</p> <p>⑨ 新株予約権の取得事由及び条件 上記(9)に準じて決定する。</p> <p>⑩ その他の条件については、再編対象会社の条件に準じて決定する。</p>
(12) 申込期日	2026年2月2日
(13) 新株予約権の割当日	2026年2月3日
(14) 新株予約権証券の発行に関する事項	当社は、本新株予約権にかかる新株予約権証券を発行しないものとする。
(15) 新株予約権の払込期日	2026年2月3日

以上